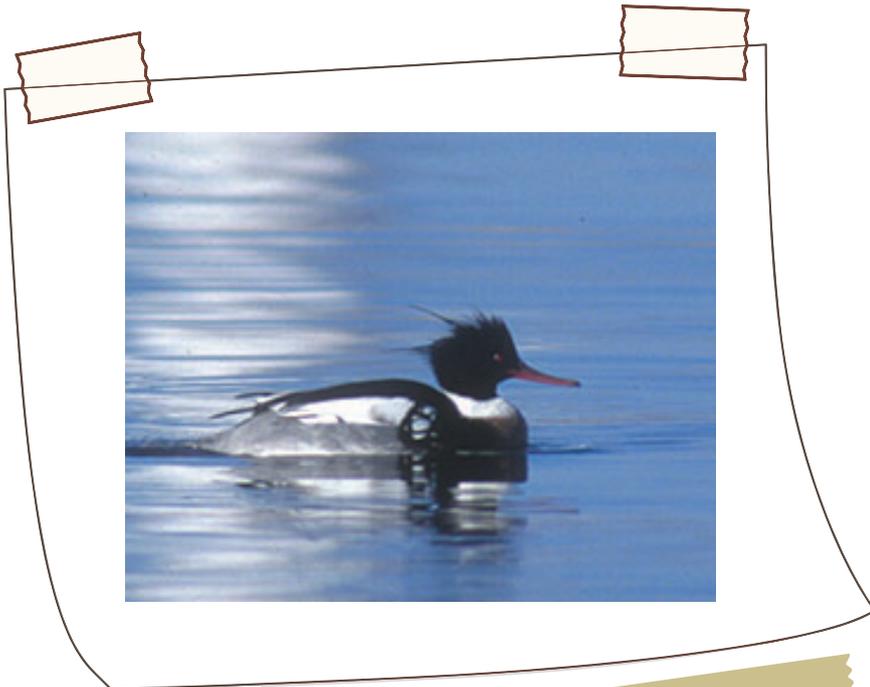




ネイチャーセンターだより

2020年2・3月号

新・いきもの図鑑



ウミアイサ (カモ科)

ウミアイサは、秋から冬に海上や港などに渡来するカモの仲間で、北半球の亜寒帯、温帯の一部で繁殖します。オスは、見た目がとても派手です。緑色の頭にはボサボサの冠羽があり、茶色の胸には黒い斑点がありヒョウ柄のようにもみえます。メスは、頭が茶色、体が灰色で、全体的に地味な色をしています。

ウミアイサは、主に魚を食べるカモです。その体は、潜水に特化したつくりになっています。水かきは大きく、足は胴体よりも後ろについているため、水中でも前に進めるようになっています。また、捕まえた魚を逃がさないように、くちばしは、先端がかぎ状で、のこぎりのようなギザギザした鋸歯がついています。

【参考文献】

福田道雄. 1996. 日本動物大百科第3巻鳥Ⅰ.
高野伸二. 2015. フィールドガイド日本の野鳥増補改訂新版.
氏原巨雄・氏原道昭. 2015. 決定版日本のカモ識別図鑑.

●クマゲラ (その後)

前々号で、2019年10月に春国岱で久々にクマゲラが2回、観察されたことをご紹介しますが、その後12月にも次の2回、出現していたことがわかりました。

12月11日 10:50頃、声(1羽) 観察者：瀬法司理香さん

12月30日 声(1羽) 観察者：柳原果奈さん・柳原風輝さん

場所はいずれも、アカエゾマツコースです。この冬は、春国岱の森で越冬しているクマゲラがいるのかもしれませんが。

●イスカを東梅駐車場で確認

1月23日 7:10、イスカ10羽以上の群を確認しました。駐車スペースの脇に植えられた外来のストロブマツの実を、パチパチと音を立てながら食べていました(観察者：稲葉一将・古南幸弘)。

イスカは春国岱原生野鳥公園では近年あまり観察例がなく、2006年1月17日に春国岱の針葉樹林で撮影されて以降の記録が見当たりませんが、根室市内の明治公園や市民の森では何年かおきに観察されています。マツの仲間の種子を食べるために、嘴の先が交差した特殊な形をしており、マツ類の種子の実りによって、渡って来たり来なかったりという変化の多い不規則な渡り(「侵入」)をすることで知られています(3ページのトピックス)。

NEWS



写真は2013年に撮影されたオスのクマゲラ



2020年1月23日に撮影されたイスカのオス

見どころMAP



根室湾では、ホオジロガモやウミアイサなどのカモ類が見られます。

オジロワシ・オオワシは、氷上や湖岸の立木で休すむ様子や上空を飛ぶ様子がよく見られます。

自然学習林では、ハシブトガラやヒガラなどの小鳥のさえずりが聞かれるようになります。

- 観察路(ヒバリコース1.2km、約25分)
- 観察路(ハマナスコース1.4km、約30分)
- 観察路(キタキツネコース0.8km、約20分)
- 観察路(アカエゾマツコース0.5km、約15分)
- 観察路(小鳥の小道1.4km、約30分)
- 作業路(春国岱上は車両進入禁止)
- ★ 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター(入館無料)
- ★ 東梅野鳥観察舎(東梅ハイド)

2・3月の見どころ予報

凡例

- ◎ ぜったい見られる(と思う)
- ちょっと気をつければ見られる
- + よく気をつければ見られる
- ・ めったに見られない

オオワシ オジロワシ	2月	○	2月は、風蓮湖内のワシ類の個体数が最も多くなる月で、特に多いのは、中旬頃。昨年は、2月14日に836羽を確認した。
	3月	○	3月になると、オオワシ、オジロワシは北へ渡り始めるため、個体数が減り始める。また、一部のオジロワシは、繁殖の準備に入る。
タンチョウ	2月	・	2月は、給餌場がある鶴居村などで越冬しているため、風蓮湖内で目にする機会は少ない。
	3月	+	3月上旬頃になると、風蓮湖に戻ってきて、繁殖の準備に入る。
オオハクチョウ	2月	+	2月は、風蓮湖内の凍っていない水面付近や海上で見られることが多い。今季は、約40羽ほどが残っている。
	3月	○	3月になると、本州北部などの越冬地から渡ってくるため、個体数が多くなる。昨年は、3月25日に風蓮湖内で1,727羽確認された。
カモ類	2月	○	2月は、風蓮湖や根室湾でホオジロガモ・ウミアイサ・カワアイサがよく観察できる。また、沖では、クロガモやビロードキンクロの小群が時々見られる。
	3月	○	3月には、南からヒドリガモ・オナガガモ・スズガモが渡来する。
カモメ類	2月	○	オオセグロカモメ・シロカモメが風蓮湖や海上でよく見られ、カモメ・ワシカモメが見られることもある。
	3月	○	
その他の鳥			ハギマシコが12月初めから春国岱駐車場付近で見られている。ハイロチュウヒとケアシノスリが12月下旬から春国岱の海岸の草原で確認されている。ハイロチュウヒは、センター前の前浜湿地でも見られたこともあり、春国岱と行き来していると思われる。
自然学習林			ハシブトガラ、シジュウカラ、ゴジュウカラなどのさえずりが聞こえるようになる。また、キツツキ類(アカゲラ・コゲラ・オオアカゲラ・ヤマゲラ)が見られる。

ケアシノスリの「侵入」

12月27日に行った自然情報収集調査の際に、春国岱駐車場や海岸草原の上空を飛んでいる姿を何度か観察しました（稲葉一将・古南幸弘）。春国岱では2012年以降は記録がありませんでした。この冬は他にも、道東各地でケアシノスリが観察されているようです。

1ページで紹介したイスカと同じく、ケアシノスリも、繁殖地周辺の食物の多い少ないに合わせて、越冬地や繁殖地を大きく変える不規則な渡りをするのが知られている鳥です。越冬地側で見ていると、たくさん見られる年と、まったく見られない年が交互する、当たり外れの激しい種類と言えます。こうした渡りは、決まった繁殖地と越冬地の間を規則的に行き来する渡りとは区別して、「侵入」（英語では irruption[イラプション]）と呼ばれています。

変動の多い食物として、レミングなどのネズミ類を食べるケアシノスリやハイイロチュウヒ、また植物の種子や果実を食べるイスカやベニヒワ、ギンザンマシコ、ヒレンジャクやキレンジャクなどが、「侵入」を行う代表的な鳥です。この冬の根室では、こうした種類が勢ぞろいしているようです。



2019年12月27日に撮影されたケアシノスリ

参考文献：

久野公啓. 2013. 日本のタカの渡り～日本のタカ学. 東京大学出版会.

中村浩志. 1997. アトリ科～日本動物大百科第4巻. 平凡社.

山岸哲他（監修）. 2004. 鳥類学辞典. 昭和堂.

春国岱クイズ

この冬、春国岱にも現れたケアシノスリは、濃褐色と白っぽい羽毛のコントラストが美しいタカの仲間ですが、その名の通り、足に細長い毛のような羽毛がふさふさと生えています。英語でも、Rough-legged Buzzard（または Hawk）、足に毛の生えたノスリ（タカ）と言います。

そして、万国共通の名前である学名でも、ケアシノスリにはやはり、足にちなんだ名前 [*Buteo lagopus*] がついています。それはつまり、ケアシノスリの足が、ある哺乳類（lagos）の足（pous）にたとえられているのですが、その哺乳類とは、次のうちのどれでしょうか？

- ① ネズミ
- ② トラ
- ③ ウサギ

春国岱ネイチャーセンターのイベント情報！

谷口高司作品展 ～ぬりえでバードウォッチング・雪に咲く鳥～

会期：1月11日（土）～3月8日（日）

会場：ネイチャーセンター2階 視聴覚研修室

日本を代表する野鳥図鑑画家、谷口高司さんがねむるバードランドフェスティバル2020で来根される機会に、谷口さんの描かれた貴重な原画をネイチャーセンターで展示します。展示作品は、日本野鳥の会より2019年5月発行された単行本「ぬりえでバードウォッチング」の原画に加え、北海道の雪景色に映える鳥の作品（新作含む）です。この機会に、プロの画家の方の絵をぜひ見に来てください。

スノーシューでこたりのこみちさんぽ

施設ボランティアグループ「スルク」主催

雪の上で生きものの足あとを探したり、小鳥のさえずりを聞いたりしながら、東梅自然学習林（こたりのこみち）を歩きます。その後お楽しみ会もあります。

○日時 2 / 11（火・祝）10：00～12：00

○対象：どなたでも（小学生以下の方は保護者の方がご同伴ください）

○定員：20名（先着順）

○参加費：小学生以下：100円、中学生以上：200円（保険代・資材代）

○持ち物：外を歩ける暖かい服装（防寒具上下・帽子・手袋・長ぐつ）、あたたかい飲み物

※スノーシューは無料でお貸しします ※荒天の時は中止します

◎お申込み：2月7日（金）までに、参加者全員のお名前、ご連絡先、小学生以下の方は学年・年齢をお知らせください。

・電話：0153-25-3047

・Eメール：nemu_nc@marimo.or.jp

・直接ご来館時に



募集中！

ボランティア「スルク」

春国岱ネイチャーセンターでは、ボランティアスタッフを募集中です。春国岱や風蓮湖、ネイチャーセンター周辺の森の自然を自らが楽しみ、環境保全について学び守ることを目的としています。月末に1回ミーティングを行い、自然学習林の樹名板を作ったり、イベントを企画しています。熱いながらもゆるい楽しい集まりです。ご興味のあるかたはご連絡ください。

◆対象：18歳以上

◆年会費（保険料）：1,000円

フィールドマナーを守って

自然や生きものが安心して暮らせるように…

●観察路から外れないようにしてください

●動植物の採取や捕獲はしないでください

●ゴミはお持ち帰りください

●所定の場所での喫煙にご協力ください

●春国岱入り口駐車場から奥は、一般車両の乗り入れは禁止されています

●キタキツネやエゾシカ、野鳥など野生動物の生息地です。ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください



クイズのこたえ 答③ lagos はギリシャ語でウサギのこと。lagos+pous=lagopus で「ウサギの（ような）足」という意味です
参考文献 内田清一郎、1983. 鳥の学名。ニュー・サイエンス社。

根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター（入館無料）

〒086-0074 北海道根室市東梅103番地

TEL. 0153-25-3047 FAX. 0153-25-8570

Eメール. nemu_nc@marimo.or.jp 最新情報はFBをご覧ください

URL. http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

◆休館日：（3月までの開館時間9：00-16：30）

2月5・12・13・19・25・26日

3月4・11・18・23・25日

◆団体でご利用の方へ（要事前申込）

自然観察や学習、スライドの上映などのプログラムをご利用いただけます。



ラムサール条約湿地

風蓮湖・春国岱

2005年11月登録